

第5期 雄武町総合計画 後期実施計画書 兼 事務事業評価調書

様式1

No. 03030040

政策目標	4 つるおい・雄武～生活環境・生活基盤の充実～	会計区分	1 一般会計	【全体計画内容】※後期実施計画期間外の計画期間を有する場合のみ記載
基本施策	18 住環境の整備	事業優先度	A	
単位施策	1 良好な住宅・宅地の供給	政策事務分類	3 単独自治事務(その他)	
事業名	町有施設整備事業	見直し年度	平成28年度	
事業期間	平成25年度～平成29年度	担当課	3 税財管理課	
事業主体	雄武町	関係課	2 財務企画課	
事業指標	住環境の整備、町有施設調査		12 教育委員会教育振興課	
事業目標	改修工事(4棟7戸)、不動産購入(2件)、町有施設調査1件、改修工事3件	ハード/ソフト 事業区分	2 ソフト事業	
住民参加	無	関係例規・法令名		
住民協働		関係個別計画名		

全体計画		平成 25 年度	平成 26 年度	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度	
事業内容		事業内容	事業内容	事業内容	事業内容	事業内容	
計 画 内 容	旧林務署住宅屋根改修(2棟4戸) 宮の森荘(お試し住宅及び陶芸工房)改修工事 旧林務署庁舎改修工事 旧林務署公宅等購入 宮下団地通路舗装改修工事 サンライズビレッジカーポート屋根塗装改修工事	旧林務署住宅屋根改修(2棟4戸)	宮の森荘(お試し住宅及び陶芸工房)改修工事 ・陶芸工房内部の梁の鉄骨補強(4箇所) ・屋根全面塗装 ・外装防腐処理及びコーキング補修 ・軒天板補修	旧林務署土地購入	旧林務署庁舎改修工事 旧林務署公宅等購入 宮下団地通路舗装改修工事 サンライズビレッジカーポート屋根塗装改修工事(H29年度へ繰越)		
	事業費(千円)	36,180	2,400	7,200	6,000	20,580	0
計 画 事 業 費	国庫支出金	0					
	道支出金	0					
	地方債	0					
	その他	0					
	一般財源	36,180	2,400	7,200	6,000	20,580	0
実 績 事 業 費	事業費(千円)	31,227	2,342	7,074	4,850	16,961	0
	国庫支出金	0					
	道支出金	0					
	地方債	0					
	その他	0					
一般財源	31,227	2,342	7,074	4,850	16,961		
関 連 事 項	特定財源の名称	(実施内容等)	(実施内容等)	(実施内容等)	(実施内容等)	(実施内容等)	
	【評価・実績】	町有住宅改修工事 2,342千円	宮の森荘改修工事 7,074千円	旧林務署土地購入 4,850千円	旧林務署庁舎改修工事 8,057千円 旧林務署公宅等購入 7,457千円 宮下団地通路舗装改修工事 1,447千円		
		※事務事業評価結果 A-継続/現状維持	※事務事業評価結果 A-継続/現状維持	※事務事業評価結果 A-継続/現状維持	※事務事業評価結果 A-継続/現状維持	※事務事業評価結果	
	前期計画からの継続(継続有り)	年度目標値 2棟4戸	1棟2戸	不動産購入1件	不動産購入1件、改修工事3件	#DIV/0!	
	第6期計画への継続(継続無し)	年度達成率 98%	26%	81%	82%	86%	
	全体達成率 6%		39%				
	備考欄						

事業名	町有施設整備事業	評価者 管理職 職氏名	税財管理課長	中村文隆
		評価者 作成者 職氏名	管財係主査	宇野敏志

様式1
平成28年度実施
平成29年度評価

■事務事業の目的・内容(Plan・Do)

【誰、何が(対象)】	町有施設	望ましい指標(目的達成状況を最も端的に表す理論上の成果指標)	町有施設の整備	
【抱える課題やニーズは】	町有施設の老朽化、不足	指標(指標計算式/解説)	目標値及び実績値	
【どのような状態になることを目指したのか(意図)】	良好な町有施設の整備・確保	① 不動産購入件数	目標年度	平成28年度
			目標値	1件
【その結果、どのような成果を実現したいか】 ※成果=目的	町民が安心して生活できる住環境の整備・確保	② 改修工事件数	実績値	1件
			達成度	100.0%
【内容(どのような手段で何を行ったか)】	不動産購入	職員住宅として使用する不動産を北海道から取得した。		
	旧林務署庁舎改修工事	旧林務署庁舎を改修し、効率的な施設の利用を進めた。		
	宮下団地通路舗装改修工事	隆起が著しい団地通路を整備し、歩行者の安全を確保した。		

■事務事業の評価(Check)

(1)事務事業の必要性(町民ニーズ、社会情勢に照らして妥当か、町が担う必要があるか。当該事業を実施しない場合の支障、既存事業との機能重複や見直しによる対応可能性)

必要	<input type="checkbox"/>	義務的なもの	町有施設の整備により、町民が安心して生活できる住環境の確保につながるものであり、必要である。
必要/概ね必要	<input type="checkbox"/>	全部	
課題あり	<input type="checkbox"/>	一部	

(2)事務事業の有効性(期待する効果が得られたか)

有効	<input checked="" type="checkbox"/>	設定した目標値の達成状況	町有施設の整備により、町民が安心して生活できる住環境が確保されており、有効である。
有効/概ね有効	<input type="checkbox"/>	達成	
課題あり	<input type="checkbox"/>	ほぼ達成	
	<input type="checkbox"/>	下回る	

(3)事務事業の効率性(コストに見合った効果が得られたか、計画上のコストを下げる工夫をしたか)

効率的	<input checked="" type="checkbox"/>	判断の理由	入札の執行により事業費が抑制され、また、不動産の購入は北海道との協議により適正価格で購入しており、効率的である。
効率的/概ね効率的	<input type="checkbox"/>	事業費抑制	
課題あり	<input type="checkbox"/>	人員削減	
	<input type="checkbox"/>	時間短縮・作業軽減	
	<input type="checkbox"/>	その他	

(4)事務事業の公平性

公平	<input type="checkbox"/>	判断の理由	町有施設の整備により、町民が安心して生活できる住環境の確保につながるものであり、公平である。
公平/概ね公平	<input type="checkbox"/>	受益者負担がある	
課題あり	<input type="checkbox"/>	受益者負担がない	
	<input type="checkbox"/>	受益が一部に偏る	
	<input checked="" type="checkbox"/>	その他	

■その他特記事項(アンケート調査など外部評価を受けた場合は、その旨記入)

■総合評価【A～D】

A:計画通り事業が進んでいる。目標が達成された。今後も計画通り事業を進めることが適当等
B:ほぼ計画どおりに進んでいるが目標を達成していない。事業の進め方に改善が必要等
C:当初の計画を達成できていない。事業規模、内容、実施主体等の見直しが必要等
D:事業効果が表れていない。事業の統合、休・廃止の検討が必要等

自己評価(一次評価)	評価会議評価(二次評価)	町長評価(三次評価)
A		
計画的に事業が進められ、町民が安心して生活できる住環境の確保がなされた。		

今後の展開方向
(Action)

継続/現状維持		
予定していた事業は適切に実施されたが、今後も本町における住環境を整備・確保するため、計画的に事業を実施する必要がある。		

※展開方向の区分
○継続/現状維持又は拡充又は縮小又は統合又は内容の見直し・変更
○終了 ○休止 ○廃止